

しみずの教育 ちよつといい話

【令和2年1月号】

清水小学校

校長 高井正樹



PTA親子クッキング で味わいました

12月7日(土)に、PTA研修委員会主催の親子クッキング講座が、保健福祉センターで開催されました。パセリの会や町の管理栄養士の皆さんの協力のもと、12組の親子が「ツナとなめたけの簡単炊き込みごはん」「キャベツしゅうまい」「カラフルサラダ」「にんじんケーキ」の4つの

時短料理作りにチャレンジしました。きっとおいしい料理が出来たことでしょう。

育てた大豆を 味わいました

4年生が、教材園で春から大切に育ててきた大豆を使って、「煎り大豆」と「きな粉」を作りました。長い時間をかけて一生懸命育ててきた大豆ですから、その味も格別です！また、みんなで協力して調理をすることも、来年から学ぶ家庭科の学習につながる貴重な経験になりました。



バイキング給食を 味わいました

12月13日(金)、6年生が恒例のバイキング給食を楽しみました。テーブルの上には、20種類以上の料理がズラリと並び、子どもたちは栄養のバランスを考えて、好みの料理を選んでいました。あちこちから「美味しい！」という声上がり、何度もおかわりをしてお腹一杯になった子どもたちは、また一つ小学校の楽しい思い出をつくることができました。給食センターの皆さん、ありがとうございました。



い思い出をつくることができました。給食センターの皆さん、ありがとうございました。

ご参観ありがとうございました～地域公開参観日～

12月3日(火)、4日(水)に地域公開参観日を行いました。3日は高学年、4日は低学年の授業を公開しました。また、両日とも放課後は寺子屋塾を開催し、校長から小学生のスマホの利用についての講話がありました。

2日間ともたくさんの方にご来校、ご参観をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。次回の地域公開参観日は、来年2月18日(火)～低学年、2月19日(水)高学年を予定しています。たくさんの方のご参観をお待ちしております。

なお、地域公開参観日はそれぞれの日で低学年、高学年に分けて公開していますが、ご都合がつかない時は低学年、高学年に限らずご参観いただけますので、お気軽にお越しください。



寺子屋塾～スマホと子どもの生活～

12月3日(火)・4日(水)の参観日に合わせて、寺子屋塾(校長の話)を実施しました。今回のテーマは「スマホと子どもの生活」についてでした。昨年の内閣府の調査によると、日本の小学生のスマホの所持率は、45.9%です。御影小ではそこまで及んでいないと思いますが、日本全体としては、年々増加傾向にあります。



そこで、スマホの使用時間・睡眠時間・学習時間等と学力の関係を示すデータや脳への影響を示すデータ、フィルタリングサービスの現状等をもとに、校長がお話をしました。お聴きいただいた皆様、どうもありがとうございました。

スケートリンク造成について

今年も例年にない降雪不足で管内をはじめ、道内のスキー場はオープンを延期するところが多数あるようです。そんな中、御影のスケートリンクも今年是可以のかご心配されていたご家庭もたくさんあったと思いますが、23日から造成班による造成が始まりました。また、造成協力員の有志の皆さんには24日、25日もクリスマスを返上して造成作業にあたってくださいました。

多目的グラウンドにはリンクらしき氷の盤面が登場しました。作業前の下準備から連日大変ありがとうございます。おかげさまで年明けからの使用が見込めそうです。



赤い羽根共同募金

12月、生徒会メンバーは挨拶運動と併せて、歳末たすけあい赤い羽根共同募金に取り組みました。校内では笑顔と元気な挨拶に合わせ「募金をお願いします！」と。その姿を見て、クラスメイトも「おはよう」と挨拶を交わし、チャリーンと募金に協力しました。また、フクハラ前でも募金活動をさせていただきました。この募金のねらいは「地域の福祉ニーズをもつ方への支援」もうたっています。そうした方々の少しでも役に立てばとの思いで、入り口付近で声を掛けました。すると、買い物を済ませた地域の方もチャリーンと。ご協力いただいた本校生徒や地域の方が募金を入れていただいた時の音はきっと書記局のメンバーにとっては「頑張っ」と聞こえたかもしれません。



冬休みも終わり～学年の締め

12月20日から1月13日まで24日間の冬休み。この長期休業を活用して、1・2年生は部活動の基礎練習に励み、体力・技能の向上を図ったり、学習会に参加し、基礎・基本の定着や苦手教科の克服を目指します。そして3年生はいよいよ進路実現に向けて真剣な表情で学習に取り組んでいます。年末25～27日、そして年始の6～9日は面接試験の練習にも励みます。

担任だけでなく学年団全員でサポートし、一人一人の進路実現に向けて指導します。「志望動機はなんですか」「将来の夢は」など、本番同様の緊張感をもって行います。あらためて、自分への質問に答えることは自分自身や将来について深く考えるとても良い機会となります。大変な思いをすればするほど人として成長し、自分の道をしっかりと見定めて歩ける生徒に成長するでしょう。中学校生活もあと2ヶ月。受験を乗り越え、本校卒業生のもとにすてきな桜が咲くことを願っています。



全ての赤ちゃんは父母の愛がある

3年生「性の学習」から命の教育を学ぶ

11月27日(木)に3年生の「性の学習」の授業で、芽室在住の前川助産師さんと帯広在住の三浦助産師さんに来ていただき、性感染症や妊娠の予防について、困ったことが出てきた場合の相談の仕方、赤ちゃんの愛情についての学習をしました。



性感染症については全国よりも全道、全道の中でも十勝の罹患率が高く、十勝全体の20%が10代であることから、関心を持って欲しいということと、思春期の方が大人より感染しやすい現状とヒトパピローマウィルスは性交で感染し、子宮がんになるリスクが高いということを学びました。また、性感染症や妊娠の予防について避妊具の仕組みについても学びました。

生まれたばかりの赤ちゃんの動画を見て、非常に生命の誕生は尊いことで、愛情を受けて赤ちゃんは育てられると



■今、生きている人には父母の愛がある自分と対話してみましよう

- 生まれてきてよかったか？
- 自分のことは好きですか？
- 生き生きと生きていますか？
- 未来に希望がありますか？
- 喜びを分かち合いたい誰かがいますか？

ということがわかりました。今生きている人は、昔赤ちゃんの時に抱っこされて愛されていた、すべての赤ちゃんはお父さん、お母さんの愛があり、命を大事に育ててくれた大人がいたということに改めて感じる事ができた授業でした。

最後に、目をつぶって自分と対話してみようという問いかけにも真剣に生徒は対応していました。いらない命など一つもない、誰もが大切な一人、うまれてくれてありがとう、心に響く命を大切にすばらしい学習を生徒は身をもって体験していたようでした。

清水高等学校

校長 平野道雄

合唱祭 たくさんの方々のご協力とご参観、ありがとうございました！

12月7日（土）、毎年恒例の合唱祭を開催しました。昨年は本校体育館で行いましたが、今年は改装工事が終わってリニューアルした文化ホールを二年ぶりにお借りしました。一ヶ月近い練習期間には、プロの音楽家の方が様子を見に来てくれたほか、ホールでの直前リハーサルでの音の響きに、生徒のモチベーションが高まりました。

初の大きな行事を運営する生徒会執行部は、生徒会長の大山凌芽さん（清水出身）や文化委員長の槇夕理愛さん（新得出身）を中心に、きめ細かい準備作業や当日の円滑な進行などで、素晴らしい動きを見せていました。合唱祭当日は、学級単位での課題曲「第九」と自由曲に加え、70名近い有志での「第九」を、「第九の町」清水町はもとより、町外からもたくさんの保護者や地域の方々が聞きに来られ、また、ロビーに掲示した書道や美術の作品も見いただきました。結果は、優勝と第九賞に3年A組、2位に2年C組、3位に3年C組、指揮者と伴奏者に与えられるベストパートナー賞に諸橋一樹さんと井上葉奈さん（ともに清水出身）、審査員特別賞に



【有志による「第九」合唱】



【表彰された生徒たち】

深谷涼介さん（帯広出身）が輝きました。合唱のレベルも年々上がっているとお褒めの言葉も、たくさんの方からいただきました。

本校でのこうした行事は、地域や学校・学級への帰属意識、豊かな表現力、大人としての教養や品格などを身に付ける機会にもなります。ご支援いただいた清水町教育委員会や、ご協力・ご参観いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

清水幼稚園

教頭 池 守 由美子

高校生と一緒にパンづくり

13日（金）清水高校の生徒さんと食育交流をするために清水高校に行ってきました。実習室に入り、ニンジンやホウレンソウ入りのパン生地を丸くこねたり、思い思いに形作りました。高校生に手伝ってもらいながら世界に一つのパンを二つ作りました。その後、膨らませるオーブンに入れて焼き上がるまでの時間に、スイーツの味比べ！！をしながら「甘い・酸っぱい・しょっぱい・苦い」4つの味の違いを学習しました。また、高校生と一緒に『パプリカ』を踊って盛り上がりました。パンが出来上がると焼きたてを1つずつ食べ、残ったパンをお土産に持ち帰りました。閉会の時には、『味博士』の認定証をいただきました。



幼稚園にたくさんのご褒美をいただきました

17日（火）に楽しみしていたクリスマス会を行いました。各クラスが趣向を凝らした三角帽子をかぶって、ばら組さんのキャンドルセレモニーを真剣に見守って始まりました。

元気な子～体をたくさん動かして遊び、好き嫌いしないで何でも良く食べる、元気な子になります。**優しい子**～小さい子のお世話をしたり、困っている人がいたら助けてあげる、優



しい子になります。**頑張る子**～色々なことに挑戦し、最後まで諦めずにやり遂げる、頑張る子になります。と幼稚園教育目標にかかわる誓いをしっかり宣言してくれました。その後は鈴木先生が変装した外国の先生と「ジャンケンゲーム」、異年齢での「プレゼントを運べ」で盛り上がりました。次に各クラス二人ずつ三角帽子で気に入っているところや頑張ったところを発表しました。

そしていよいよメインイベントのサンタさんが登場しました。全員がサンタさんからプレゼントをもらったので、お礼の歌とフォークダンスをするとサンタさんがとっても喜んでくれました。サンタさんと一緒に記念写真を撮ったり、遊戯場でみんなと会食したりして楽しく過ごし思い出に残る一日でした。



一日おいて19日(木)には郵便局からもクリスマスプレゼントがきました。この日は11時からぼすくまくん、サンタさん、かんぼくんの3人がプレゼントを持ってやってきてくれました。今年は、何だか当たり年ですね。みんなでダンスやクイズをしたり、記念写真を撮ったりして楽しい時間を過ごしました。

第一保育所



おもちつき

寒さも少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じられる頃。保育所では、おもちつきをしました。臼に入る前のもち米の匂いを嗅いだり、のび~るお餅を見たりして歓声をあげていました。また、お手伝いに来てくれたお父さん達の餅つきに合わせて「よいしょ！」と掛け声を掛け、盛り上がりまし

たよ。子ども達も順番が回ってくると、きらきらした目で杵を持ち、掛け声に合わせて力強くお餅をついて楽しんでいました。

ついたお餅は、お雑煮にしておいしく頂きました。



(保育士 上西 叶未)

わーい！クリスマスって楽しいね！

12月に入りクリスマス会に向けてクリスマスツリーの飾り付けや三角帽子の製作などの準備を進めながら「サンタさん来てくれるかな?」「プレゼントは何か?」等と毎日楽しみに待っていた子ども達。

12月20日(金)は素敵な三角帽子を被って遊戯場に集まり、「今か今か」とワクワク、ドキドキ!サンタさんの登場に目をキラキラと輝かせ嬉しい気持ちいっぱいの子も達でしたが、今年は特別ゲストのボスクマ君とかんぼ君(郵便局)も来てくれました!クイズやボスーダンスを楽しんだり、プレゼントを貰ったり…。サンタさんからプレゼントをもらおうと友達同士で「〇〇が入ってるんじゃない?」と楽しい会話をしながら、自分のエコバックにしっかりとしまっていました。その後は職員によるブラックパネルシアターを見たり、特別メニューの給食を食べたり、笑顔いっぱいの一日になりました。

午後からはこぐまクラブのマモルンジャーも来てくれました。素敵な踊りを見せてくれたりプレゼントをもらい大満足の子も達でした。(この日、鞆やバスタオルの忘れ物はありませんでしたが、プレゼントの忘れ物はありませんでした。)

(保育士 池田 華菜)



第二保育所

もちって美味しいね！

朝の会や帰りの会では「♪ぺったん ぽったん…」元気に歌っておもちつきを楽しみにしていました。「おもちはどうやってできるんだろう？」「どんな道具を使うのかな？」と先生から質問されると「・・・。」と自信なさげな様子でした。

当日は、実際にもちをついたり、伸ばしたりする様子を見られて、先生からの質問の答えが分かったようです。みんなで

ついたおちは砂糖醤油をつけてあじみ、すぐにお皿は空っぽになるほど大人気でした。給食では雑煮にして美味しく食べました。

もちを食べたり、ついたりする機会があまり無い子どもたちにとっては新鮮な気持ちで良い経験になったと思います。

(保育士 溝口 翔也)



サンタさんがやってきた！！

12月20日は、皆が楽しみにしていたクリスマス会でした。年長児がキャンドルサービスでローソクを持って前に立つと「わあ〜キレイ！！」という声が聞かれました。各クラスで制作した、三角帽子をかぶり、歌・フォークダンスが遊戯場に元気一杯響きわたりました。職員の出し物、楽器演奏を聴いていると・・・待ちに待ったサンタさん

さんがプレゼントを持って、登場してくれました。大きな袋をもらうと、子ども達の笑顔が満ち溢れました♪お昼ご飯は、特別メニュー・おにぎりで満足しました♡楽しく過ごせた1日でした。

(保育士 小林 可奈恵)



御影保育所

ぺったん！ぽったん！おもちつき！

12月3日(火)におもちつきがありました。前の日からおもちつきの由来を聞き、当日を楽しみにしていた子ども達。いよいよ、エプロンと三角巾をつけて遊戯場に集まりました。遊戯場に置いてある、杵や臼を見て更にテンションのあがっているみんな。まずは、役員のお父さん方がおもちをついてくれました。小さいお友達も見たことのない光景に口をぽかん



と開けて見つめていました。2回目のもち米が蒸され、みんなで味見をしてみました。このもち米からぺったん、ぺったんつくことによっておもちができることが不思議なようでした。自分達で「よいしょー！よいしょー！」とおもちをついたり、おもちを丸めている様子を見たりと楽しんでいました。

給食では、みんながついた餅をお雑煮と砂糖醤油にして食べました。自分達でついたおもちが格別のおいしさのようでおかわりを何回もしていました。

待ちに待ったクリスマス会！

子ども達がとても楽しみにしていたクリスマス会が12月24日（火）にありました。インフルエンザの影響で予定日の変更などがありましたが、無事に行うことができました。

園の中を、クリスマスツリーやリースの飾りなど、クリスマス会に向けてかわいく飾り付けをして、何日も前から、歌やフォークダンスの練習、サンタさんへの質問などを考え、カレンダーを見て当日を楽しみに待っていました。



待ちに待ったクリスマス会当日。未満児、年少児、年中児はそれぞれ頑張って作った三角帽を被り、薄暗い遊戯場に集まりました。素敵な音楽が流れ、年長児のひまわり組はキャンドルを持って入場。緊張しながらも、自分達で考えた願い事を言うことができていました。その後は、たくさん練習をした歌をみんなで歌ったり、未満児によるかわいいパブリカダンスを披露したりしました。ゲームも大盛り上がり！遊戯場の中が応援の声や楽しそうな声でいっぱいになっていました。いよいよ、サンタさんが登場しそうな雰囲気、子ども達はワクワクしていました。職員の出し物を見ている途中、何やら黒い箱が登場。不思議そうに見ている子、もしかして！と期待を高めている子がいる中、2人のサンタさんが出てきました。クラスで考えた質問をしたり、プレゼントをもらったりと、楽しい時間を過ごしました。遊戯場で会食もし、いつもと違う雰囲気を楽しみました。

（保育士 福原 千里）

教育委員会

オリンピック・イヤー

新たな年を迎え、今年注目すべき話題や世界の動きがメディアから提供されています。

すでに東京オリンピックにあたり祝日の変更になっていますが、開催まで200日あまりとなり、例年とは違うプロ野球の休止期間や高校野球（甲子園）開催期間が発表されました。身近な子どもたちの大会も、昨年とは少々違う日程になると予想されます。

7月には、開催に合わせ5G（5th Generation）の国内サービスが開始されるようです。世界では、2019年までに18の国と地域が利用を開始しています。超高速化、超多数同時接続、超低遅延が特徴として挙げられ、今までインターネットに接続していなかったものをつなげることで私たちの暮らしが大きく変わることになりそうです。2時間の動画ダウンロードに30秒前後要していたものが3秒くらいでできるというから驚きです。

これから多くの機器がネットワークにつながることで、便利になるとともにセキュリティ対策が今まで以上に大切になってきます。2018年にはすでに、Webカメラやホームルーターなどを狙った攻撃が報告されています。だからといって、利用しない選択肢には無理があります。保護者や大人に求められていることは、子どものネット利用を見守る責任です。子どもの年齢に合わせ見守り方や与え方には違いがあります。

- 幼児には大人のスマホやタブレットを利用させることが多いのではないのでしょうか。まだ小さいからとフィルタリングなしのものを利用させているのは、幼児を大人用の自転車に乗せているようなものです。フィルタリングをかけることをお勧めします。また、言語やコミュニケーションを育てる大切な時期です。やむを得ないときはあると思いますが、ぬり絵、ブロック・パズル、絵本などで一緒に遊ばせてあげてほしいと思います。
- 小学生には、ルール・モラル・マナーを守って安全に使えるように接することが大切です。それには、ネットでも家庭でも決まりや約束を守ることを大切にしてください。「ダメなものはダメ」を徹底することが必要です。
- 中学生は、大人の言葉よりも仲間（友達）との関係性が重要になる時期です。しかし、ネットにつながっていることで、家の中まで関係が途切れずそこから生じる問題も指摘されています。大人が作ったルールの押しつけではなかなか守れない時期です。じっくり話し合うなど妥協点を探しながら一緒に決めていくことが大切になります。

(参考・引用：安心ネットづくり促進協議会より)

しみず「教育の四季」推進協議会として「しみずソーシャルメディアガイドライン」を作成しています。オリンピック・イヤーを迎え、グローバル世界で生きる子どもたちと丁寧に話し合う機会としてはいかがでしょうか。

(教育指導幹 福原 幸江)



しみず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」

から感性あふれ、表情豊かな子を育てる

冬～厳しさに生きる人の中で 共に磨く

家庭・学校・地域今月の取組

家庭は、みんな揃って

楽しい団らん

地域は、向こう三軒

みんな家族